

## 横須賀市から初記録の 淡水魚4種

萩原清司\*・齋藤和久\*\*・木村喜芳\*\*・  
横須賀市自然環境共生課\*\*\*

Four freshwater fishes of new record  
from Yokosuka City

HAGIWARA Kiyoshi \*, SAITOU Kazuhisa \*\*,  
KIMURA Kiyoshi \*\*  
and Yokosuka Natural Environment Division\*\*\*

キーワード: 淡水魚, 分布, 平作川, 前田川, 横須賀市  
Key words: freshwater fish, distribution, Hirasaku  
River, Maeda River, Yokosuka City

### はじめに

筆者らは2014年から2016年の期間に、横須賀市内(以下、市内)河川のうち相模湾に河口を開く前田川と、東京湾(浦賀水道)に河口を開く平作川の調査を行った。

横須賀市やそれを含む三浦半島の魚類相についてはこれまで、林(1973)、林・長峰(1981)、相模湾海洋生物研究会(1995)、齋藤ほか(2012)などが報告しているが、今回の調査において市内から初めての記録となる淡水魚類4種の標本を得たので、これらについて報告する。

### 材料と方法

採集はタモ網(目合い4mm)と投網(目合い18節, 24節)を用いて行った。

標本は10%ホルマリンで固定後、70%エタノール水溶液中で横須賀市博物館魚類資料(YCM-P)として保存した。また、種の学名および和名は中坊編(2013)に従った。

### 初記録魚種

以下に初記録となる魚種および標本の一覧を示

す。標本データは、標本番号、個体数、採集年月日、標準体長または体長範囲、雌雄(判別可能な場合)、採集地点番号(第1図に対応)、写真番号(第2図に対応)の順で示した。

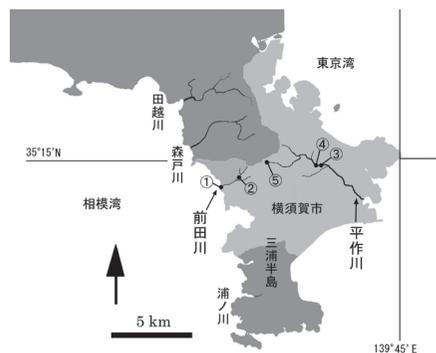
○ウグイ *Tribolodon hakonensis* (Günther, 1877): YCM-P45884, 1個体, 20141010, 標準体長70.7 mm 第1図-①, 第2図-1.

上流域から河口域まで広く分布し、降海することも知られるコイ科魚類であるが、市内からの記録がなかった。前田川河口において投網により採集された。

○ヒナハゼ *Redigobius bikolanus* (Herre, 1927): YCM-P46042, 9個体, 20151027, 標準体長16.7~23.0 mm 第1図-②, YCM-P46044, 1個体, 20151027, 標準体長25.5 mm, ♀, 第1図-②, 第2図-2. YCM-P46065, 6個体, 20160930, 標準体長15.2~20.0 mm 第1図-②, YCM-P46067, 2個体, 20160930, 標準体長21.0~22.5 mm, 第1図-③, 第2図-2.

下流域~河口域、沿岸の汽水域などに生息する小型のハゼ科魚類で、おもに西日本太平洋岸や琉球列島に分布していたが、1990年代以降神奈川県内や東京湾沿岸に分布を広げている。三浦半島では逗子市田越川(萩原ほか, 2008)や葉山町森戸川(萩原・齋藤, 1999)からの記録があるが、市内では初めての記録となる。平作川下流域の上町浄化センター放水口周辺においてタモ網で採集された。

○ゴクラクハゼ *Rhinogobius giurinus* (Rutter,



第1図. 採取地点図 ①, 前田川河口; ②前田川上流; ③平作川上町浄化センター放水口; ④平作川真崎橋; ⑤平作川上流

\* 横須賀市自然・人文博物館 〒238-0016 神奈川県横須賀市深田台95

\*\* 相模湾海洋生物研究会

\*\*\* 横須賀市環境政策部

原稿受付2017年10月20日 横須賀市博物館業績732号



第2図. 標本写真 1. ウグイ *Tribolodon hakonensis* YCM-P45884 ; 2. ヒナハゼ *Redigobius bikolanus* ♀ YCM-P46044 ; 3. ゴクラクハゼ *Rhinogobius giurinus* ♂ YCM-P46070-1 ; 4. オオヨシノボリ *Rhinogobius fluviatilis*, ♀ YCM-P45735-1. 5. オオヨシノボリ *R. fluviatilis* ♂ YCM-P45901 ; 6. オオヨシノボリ *R. fluviatilis* ♀ YCM-P45903.

1897) : YCM-P46070, 1 個体, 標準体長 63.7 ~ 69.1 mm, ♂, 第1図 - ④, 第2図 - 3

中流域～河口域に生息するハゼ科の魚類で, 吸盤状になる腹鰭が縦長の楕円形であることで, ほぼ円形となる他のヨシノボリ属魚類とは容易に区別できる。

これまで三浦市浦ノ川 (林・長峯, 1981), 葉山町森戸川 (萩原・齋藤, 1999), 逗子市田越川 (萩原ほか, 2008) から報告されているが, 市内からの記録はなかった。

○オオヨシノボリ *Rhinogobius fluviatilis* Tanaka, 1925: YCM-P45735, 2 個体, ♀, 20140529, 標準体長 40.3 ~ 40.4 mm, ♀, 第1図 - ②, 第2図 - 4. YCM-P45901, 1 個体, 20150601, 標準体長 66.7 mm, ♂, 平作川, 第1図 - ⑤, 第2図 - 5. YCM-P45902, 1 個体, 20150601, 標準体長 50.4 mm, ♂, 第1図 - ⑤. YCM-P45903, 1 個体, 20150601, 標準体長 44.5 mm, ♀, 第1図 - ⑤, 第2図 - 6. YCM-P46039, 1 個体, 20150814, 標準体長 51.3 mm, ♀, 第1図 - ④.

大型河川の上流域～中流域に生息するハゼ科魚類で, 他のヨシノボリ属魚類との区別が難しいが, 同属としては大型で最大標準体長 9 cm に達すること, 胸鰭基部には明瞭な 1 黒点があり, これが胸鰭上縁に接しないこと, 尾柄部の黒斑が上下に分割せずに直線的または「へ」の字状を呈すること, 頬にはルリ色斑やミミズ状斑をもたないことなどの特徴がある。

本種は, 齋藤ほか (2012) によって平作川に分布

することが報告されたが標本の保存がなされておらず, 今回の前田川上流および平作川上流からタモ網によって採集された個体が標本に基づいた市内を含む三浦半島から初めての記録となる。

#### 引用文献

- 萩原清司・齋藤和久 1999. 森戸川感潮域の魚類. 神奈川自然誌資料, (20) : 69-74.
- 萩原清司・齋藤和久・出島誠一・五十嵐大介 2008. 逗子市田越川水系の魚類. 横須賀市博研報 (自然), (55) : 11 - 22.
- 林 公義 1973. 三浦半島の淡水魚類 (三浦半島淡水魚類調査報告). 横須賀市博研報 (自然), (20) : 18 - 40.
- 林 公義・長峯嘉之 1981. 三浦半島淡水魚調査追加記録と一考察. 神奈川自然誌資料, (2) : 23 - 28.
- 中坊徹次編 2013. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版 I, II, III. L+864 ページ, xxxii+ 865-1747 ページ, xvi+1751-2428 ページ, 東海大学出版会.
- 相模湾海洋生物研究会 1995. 平成 7 年度横須賀市環境部委託事業 横須賀市内河川水生生物基礎調査報告書. 60 ページ+ 23 図版.
- 齋藤和久・金子裕明・勝呂尚之・大竹哲 2012. 神奈川県内河川におけるヨシノボリ属魚類の分布. 神奈川自然誌資料 (33): 85-93.